

経緯：

次世代映画ショーケースの参加館は、〈濱口竜介レトロスペクティブ〉（2013年）、学生が500円で映画を観られる〈え〜がな500〉等の例年行っているキャンペーン企画を共同で行ってきた中で、地方の映画館における興行的な動員力の弱体化が年々、加速度を増していることに危機感を共有してきました。特に年間600本近くが製作されている日本映画のほとんどは、東宝、松竹、東映、日活などの大手映画会社からリリースされる作品ではなく、公的支援のない、自律的自発的な創造性に依拠したインディペンデント映画という現実があります。そうした作品の興行は、壊滅的に厳しい状況にあることに各地域の劇場は苦慮し続けています。しかし、興行的な側面だけでこうした作品の切り捨てを行ってしまうのは、ミニシアター（既に死語ではある）運営の意義を根幹から否定しかねない行為にほかなりません。そのことを憂慮し、「次世代映画ショーケース」を立ち上げ、数多くあるインディペンデント映画から新しい才能を選出し、日本映画の今後の沃土を自分たちの力で耕して行こうとの決意を、2018年1月27日に京都文化博物館で開催された〈地域から次世代映画を考える〉のシンポジウムで表明しました。

目的：

次世代映画ショーケース実行委員会が、次世代の映画界において発見されるべき新しい才能を選出し、積極的に広く一般に認知されるように広報活動等を行う。また選出作品に高い芸術的価値があることを識者の協力を得て措定し、将来的に興行的な側面の向上も図ることを目的とする。

組織：

〈次世代映画ショーケース実行委員会〉
実行委員長 松村厚
事務局長 川村健一郎
会計 川村健一郎
監査役 外山ひろみ

メンバー

山崎紀子（シネ・ヌーヴォ支配人）
田中誠一（出町座支配人）
吉田由利香（京都みなみ会館館長）
林未来（元町映画館支配人）
松村厚（映画宣伝）
外山ひろみ（元・第七藝術劇場スタッフ）
川村健一郎（立命館大学映像学部教授）

公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/zisedai.sc/>

（順次、公式HP開設予定）

メールアドレス

zisedai.sc@gmail.com

活動：

【1】『次世代映画ショーケース』推薦作品を参加館の上映作品より年間10作品程度選出し、推薦する旨を作品広報物などに印字して広く一般に告知して行く。

2018年5月末までの推薦決定作品

『月夜釜合戦』佐藤零郎監督

<http://tukikama.com/>

『鉾 ARAGANE』小田香監督

<http://aragane-film.info/>

『息衝く』木村文洋監督

<http://www.ikiduku.com/>

*2018年6月以降も作品を選定して参ります。

【2】2018年度内に〈次世代映画ショーケース映画祭（仮）〉を開催する。

本映画祭は、次世代映画ショーケース実行委員会が推薦する次世代の新しい才能ある作品を、参加劇場であらためて紹介、また各劇場で興行に乗せていない作品の紹介も行う。さらに作品の芸術的価値を見出す機会を一般観客と共有する機会として実施する。

【3】〈地域から次世代映画を考える〉シンポジウムにゲストで参加していただいた福永信さん（小説家）をはじめ、京阪神の他分野カルチャーから各ジャンルの論客による次世代映画ショーケースへのコミットメントを促進する。

以上です。これから、次世代の映画の作り手と観客の皆さまをお繋ぎするために邁進いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。